

ももがわねこやじょう

桃川根古屋城の 落城伝説を探る

文化八年(一八一一年)年に記された『桃川佐藤氏系譜記』に

「根古屋城主桃川真多羅大夫大江祐高 (中略) 当時祐高勇敢ニシテ自儘、鎌倉幕府ニ降ラズ。幕府不豫、祐高ヲ畠山秩父等ニ誅伐令シム。(中略) 文治元年二月廿四日ヲ以テ軍敗レ城陥ル。」

とあります。

文治元年(一一八五)は、三月に壇ノ浦で平家が滅亡し、十一月に源頼朝が全国に守護・地頭を配置しました。秩父氏が小泉庄の地頭職に発令されたのは文治四年(一一八八)以前だと考えられています。激しく時代が動いていたその頃、この地域の様子について史料は沈黙しています。

文書に記された根古屋城の話はまったくの作り話でしょうか。史実にしたがいがながら桃川根古屋城の落城伝説を探ります。

平成 29 年 11 月 18 日 (土)

午後 6 時開始 (開場は午後 5 時 30 分)

- 会場 おしやぎり会館 (村上市郷土資料館) 2 階展示場
- 講師 館長 佐藤耕太郎
- 参加費 300 円 (資料代)
- 申込み おしやぎり会館 TEL0254-52-1347 締切 11/14 (火) まで

■主催・問合せおしやぎり会館 (村上市郷土資料館)